

第2回 サイバーセキュリティ 対策普及啓発セミナー

“知っておこう、やってみよう、脅威へ今すぐできる対策”

開催日時：2023年2月2日（木）

13時30分～15時30分

配信方法：オンライン（Webex）

参加費：無料

対象：主に千葉県内の中小企業、支援機関等

※その他地域からのご参加も可能です



スケジュール		内容
13:30	13:35	開会
13:35	14:25	「図解によるサイバー攻撃の主要手口の紹介と事業に及ぼすリスク」 株式会社サイバーディフェンス研究所 専務理事／上級分析官 名和 利男 氏
14:25	14:55	「企業活動の妨げとなるサイバー犯罪の脅威」 千葉県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課 情報セキュリティアドバイザー 星野 和彦 氏
14:55	15:25	「費用を極力押さえて、まず実行すべきサイバーセキュリティ対策とは」 特定非営利活動法人ITCちば経営応援隊 IPA登録セキュリティプレゼンター 田中 孝典 氏
15:25	15:30	閉会

参加申込方法

以下のURLよりお申込みください。（申込締切：2月1日（水）15時00分）

<https://cs-seminar-jimukyoku.com/entry/apply/schedule#csj230202>

※定員になり次第締め切りとさせていただきますのでお早めにお申込みください。



お問い合わせ先

千葉県地域SECURITY事務局

特定非営利活動法人ITCちば経営応援隊 担当：松下

電話：090-6235-2927

メール：matsushita.masao@itc.or.jp

講演1：「図解によるサイバー攻撃の主要手口の紹介と事業に及ぼすリスク」

株式会社サイバーディフェンス研究所 専務理事／上級分析官 名和 利男 氏

労働力人口の減少が確実視されている中、DX推進により生産性向上を高めようとする企業に待ち受けているのは「事業継続を脅かすサイバーリスク」です。しかし、多くの経営幹部は、狙われるような情報はないという古い認識を堅持し、リーダーシップをとっていません。本講演で、そのような経営幹部における想像力の促進を狙います。

【プロフィール】

海上自衛隊での護衛艦の戦闘情報中枢の業務後、航空自衛隊での防空指揮システムのセキュリティ担当業務等に従事した後JPCERT/CC等を経て、サイバーディフェンス研究所に参加。インシデントハンドリングの経験と実績を活かし、CSIRT構築、サイバー演習の支援サービスを提供。最近では、サイバーインテリジェンスやアクティブディフェンスに関する活動を強化中。



講演2：「企業活動の妨げとなるサイバー犯罪の脅威」

千葉県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課
情報セキュリティアドバイザー 星野 和彦 氏

現在、日本におけるサイバー犯罪の現状を「令和4年上半期におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」に基づき、多発するランサムウェアへの感染やフィッシング詐欺等の現状、また、これらの被害に遭わないために管理者としてなすべきことを説明します。



講演3：「費用を極力抑えて、まず実行すべきサイバーセキュリティ対策とは」

特定非営利活動法人 I T C ちば経営応援隊
IPA登録セキュリティプレゼンター

サイバーセキュリティ対策が必要なことはわかるけれども、お金も人手も多くは掛けられない。中小企業にとってはそれが現実だと思います。そういった現状を踏まえ、費用を極力抑えて実行できる対策を理解したうえで順番に始めてみませんか。その手順をご説明するとともに、国の支援策（お助け隊サービス、IT導入補助金：セキュリティ特別枠）など対策の費用が軽減できる方法もご紹介します。



主催・共催・協力団体・事務局

主催：千葉県地域SECURITY（セキュリティ・コミュニティ）

共催：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

協力団体：

千葉県／市原市／公益財団法人千葉県産業振興センター／千葉県よろず支援拠点／

一般社団法人千葉県商工会議所連合会／千葉県商工会連合会／千葉県中小企業団体中央会／

市原商工会議所／株式会社日本政策金融公庫／株式会社千葉銀行／株式会社千葉興業銀行／

株式会社京葉銀行／千葉信用金庫／公益社団法人千葉県情報サービス産業協会

事務局：特定非営利活動法人ITCちば経営応援隊／経済産業省関東経済産業局／

総務省関東総合通信局

千葉県地域SECURITYとは

千葉県内の中小企業等のセキュリティ意識向上やサイバーセキュリティ対策支援等を実施するために、県内の自治体、商工団体、金融機関等に加え、経済産業省関東経済産業局及び総務省関東総合通信局を含む20団体が参加した組織です。